

# 第14回 定時社員総会

開催日 2024年6月28日

場 所 ステーションコンファレンス万世橋

一般社団法人 日本鉄道運転協会

## 第14回定時社員総会次第

1. 開 会

2. 総会成立報告

3. 会長挨拶

4. 来賓挨拶

5. 議 事

(1) 議長選出

(2) 議案

ア 報告事項

報告1 2023年度事業報告

報告2 2024年度事業計画及び予算

イ 決議事項

第1号議案 2023年度決算の承認に関する件

第2号議案 理事の選任に関する件

(3) 議長退任

6. 閉 会

# 報告 1 2023年度事業報告

# 事業報告

## I 概況

新型コロナウイルスによる行動制限が解除されて、当協会の事業も通年に近い状況に戻りつつあります。2023年度は、各種講習会においては人数制限を通常に戻し、意見交換会も感染対策を取りつつ実施することで、会員間の交流を図りました。運転業務研究発表会も聴講者を自由参加として従来の発表としました。また、海外鉄道視察団は欧州の物価高と円安の影響を受けましたが、期間を短縮するなど工夫して再開しました。さらに、各種委員会、各支部総会および関東部会は、各社局のご協力により全て実施することができました。

受託調査研究として、動力車操縦者運転免許制度のあり方に関しては鉄道事業者の意向を調査し、検討会を開催しました。また、動力車操縦者の身体検査（視機能・聴力）の基準の修正や、数値基準との整合性をとるための基礎データを収集するなど、省令の改正に寄与しています。さらに、協会の自主研究として「解説 鉄道に関する技術基準(運転編)」の見直しを行い、発刊準備が完了しました。

## II 会務関係

会務活動については、2023年6月30日に第13回定時社員総会、評議委員会及び第49回、50回理事会を、11月24日に第51回理事会、支部長会議を開催した他、2024年3月1日に第52回理事会を開催して業務執行体制の更なる定着を図ってきた。

また、第17回運営委員会を2023年8月17日に開催したほか、各種委員会等についても、ほぼ計画通り実施することができた。

### 1 第13回定時社員総会

2023年6月30日13時30分 第13回定時社員総会をステーションコンファレンス万世橋（秋葉原）404会議室において開催した。会員総数24,550名中、出席者40名、委任状21,604名、合計21,644名（正会員及び法人会員総数の88%）にて定款第18条に基づく「過半数」を満たして成立し、次の議案を審議し、それぞれ承認、可決された。

#### (1) 報告事項

- ・2022年度事業報告
- ・2023年度事業計画及び収支予算について

#### (2) 決議事項

- 第1号議案 2022年度決算の承認に関する件
- 第2号議案 理事及び監事の選任に関する件

### 2 第13回評議委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年6月30日 12時30分から開催し、次の案件を審議承認した。

議案 理事及び監事の候補者に関する件

報告事項 評議委員会委員

その他、総会附議事項の説明を行った。

### 3 理事会

#### (1) 第49回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年6月30日 12時45分から開催し、次の議案の審議及び可決を行ったほか、報告事項の承認を行った。

決議事項

- 第1号議案 2022年度事業報告について

第2号議案 2022年度決算及び監査報告に関する件  
第3号議案 第13回定時社員総会への附議事項に関する件

(1) 報告事項

- ・2022年度事業報告
- ・2023年度事業計画並びに予算

(2) 決議事項

- ・理事及び監事の選任に関する件

(2) 第50回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年6月30日 14時30分から開催し、次の議案の審議及び可決を行った。

決議事項

- 第1号議案 会長選定の件  
第2号議案 副会長、専務理事及び代表理事選定の件  
第3号議案 執行理事選定の件  
第4号議案 名誉会長選任の件  
第5号議案 運営委員会委員の選任・承認に関する件

(3) 第51回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年11月24日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2023年度表彰に関する件  
2023年度運転功労者表彰者、協会功績者褒賞及び運転協会誌優秀作品  
表彰者の決定について

報告事項

- ・2023年度上半期決算報告について
- ・東記念賞選考委員会の選考結果について
- ・2023年度の運転業務研究発表会の結果について
- ・運輸業務管理ゼミナールの開催について
- ・会員状況について
- ・会務報告と今後の予定

(4) 第52回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2024年3月1日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2024年度事業計画(案)及び予算(案)に関する件  
第2号議案 第14回定時社員総会招集の件及び同社員総会に附議する議案に関する件

報告事項

- ・2023年度決算見込みについて
- ・2024年度の主要会務予定について
- ・会員状況について
- ・運転設備研修講座の開催について
- ・運転理論(運転曲線)講習会の開催について
- ・運転法規研修講座の開催について
- ・研修・講習会のご案内

4 運営委員会

第17回運営委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年8月17日 16時00分から開催し、次の案件の報告・審議を行った。

会務報告

- ・2023年度の会務経過と今後の予定
- ・会員状況について

- ・運転理論講習会開催について
- ・運転法規研修講座開催について
- ・運転関係指導者講習会開催について
- ・2023年度（第44回）運転業務研究会発表会について

審議事項

- ・2023年度運転功労者表彰の支部別割当数について

5 第28回支部長会議 ステーションコンファレンス万世橋

2023年11月24日 14時30分から開催し、次の案件の報告等を行った。

- ・支部別等会員数 (報告)
- ・支部別・事業者別正会員数 (報告)
- ・支部別・運輸局別法人会員数 (報告)
- ・支部会員数の各年度月別推移 (報告)
- ・支部活動状況経過まとめ (報告)

6 東記念賞選考委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2023年11月24日 15時35分から開催し、候補案件を審議した。

その結果、下記案件に決定した。

- ・相鉄新横浜線・東急新横浜線の開業～つながる！相鉄・東急直通線～  
(相模鉄道株式会社)  
(東急電鉄株式会社)

7 企画委員会

(1) 第299回開催 西日本旅客鉄道(株)「北陸広域鉄道部・会議室」

2023年5月18日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・運転理論(運転曲線)講習会の開催について
- ・2023年度運転業務研究発表会の開催とご参加のお願いについて
- ・各社局の情報連絡について
- ・その他

(2) 第300回開催 東武鉄道(株)「春日部乗務管区・会議室」

2023年7月3日(月)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・運転法規研修会の開催について
- ・運転関係指導者講習会のご案内について
- ・東記念賞の推薦について
- ・各社局の情報連絡について
- ・その他

(3) 第301回開催 北海道旅客鉄道(株)「函館新幹線総合車両所・会議室」

2023年9月14日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・運転功労者表彰の支部別割当について
- ・運転関係指導者講習会について
- ・運転業務研究発表会について
- ・東記念賞業績候補への申請について
- ・運転協会功績者褒賞の推薦について
- ・各社局の情報連絡について
- ・その他

(4) 第302回開催 西武鉄道(株)「秩父市歴史文化伝承館・中央公民館・会議室」

2023年11月8日(水)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。

- ・運転業務研究発表会について
- ・運輸業務管理ゼミナールについて

- ・東記念賞候補への申請（案）について
- ・運転協会功績者褒賞候補者の推薦（案）について
- ・運転協会誌の優秀論文会長賞候補作品、優秀論文賞候補作品、優秀エッセイ賞候補作品、佳作賞候補作品について
- ・各社局の情報連絡について
- ・その他

- (5) 第303回開催 小田急電鉄株「江ノ島イルキャンティビーチ個室」  
2024年1月18日（木）に開催し、次の案件を報告と審議を行った。
- ・運転協会創立65周年記念式典での2023年度各賞の表彰について
  - ・運輸業務管理ゼミナールについて
  - ・各社局の情報連絡について
  - ・その他

- (6) 第304回開催 西日本旅客鉄道株「福井電気工事所・会議室」  
2024年3月7日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・2024年度（第64回）海外鉄道視察団の派遣について
  - ・運転設備研修講座について
  - ・2024年度日本鉄道運転協会事業計画（案）概要
  - ・2024年度研修会・講習会のご案内について
  - ・各社局の情報連絡について
  - ・その他

## 8 運転管理研究委員会

- (1) 第25回開催 ステーションコンファレンス万世橋  
2023年5月8日（月）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・「ワンマン運転の運用状況及び導入課題について」  
アンケート調査結果についての報告と各社局の取組みと課題等の意見交換
  - ・次回検討希望テーマ（課題）について
  - ・各社局の情報連絡について
  - ・その他
- (2) 第26回開催 「アートホテル宮崎スカイタワー・会議室」  
2023年11月1日（水）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・「乗務員のモチベーション向上（人材確保の観点から）」  
アンケート調査結果の報告と各社局の取組み、課題等の意見交換
  - ・次回検討希望テーマ（課題）について
  - ・2024年度の委員長、副委員長（2名）の改選（選出）について  
委員長：延命 誠（京成電鉄株） ⇒ 田中 庸久（京王電鉄株）  
副委員長：志水 仁（日本貨物鉄道株） ⇒ 関 淳也（北海道旅客鉄道株）  
副委員長：阿曾 英明（京都市交通局） ⇒ 田中 耕一（神戸市交通局）
  - ・各社局の情報連絡について

## 9 安全情報委員会

2023年度は特に課題となる案件がなかったことから、委員会は開催しなかった。なお、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

## 10 運転協会誌編集委員会

2023年度は、6月8日に函館、9月8日に大阪、11月16日に那覇で開催したほか、上記を除く毎月上旬に東京地区において開催し、その都度運転協会誌の編集計画を審議して決定した。

### 1.1 運転協会事務担当者打合会議

運転協会の事業・支部活動・会員の増加対策ため、全国事務担当者会議を前期6月15～16日を秋田、後期を12月7～8日に沖縄にて開催、関西地区事務担当者会議を10月12日に京都にて開催、関東地区事務担当者会議を9月21日に神奈川にて開催した。

### 1.2 支部活動

(1) 北海道支部	2023年10月18日	会計監査	
	2023年10月20日	支部総会	
(2) 東北支部	2024年 2月28日	会計監査	
	2024年 3月22日	支部総会	
(3) 新潟支部	2023年 4月19日	会計監査	
	2023年11月13日	支部総会	
(4) 中部支部	2023年 8月10日	会計監査	
	2023年 9月 7日	支部総会	講演
(5) 関西支部	2023年 4月28日	会計監査	
	2023年 7月 7日	運営委員会	
	2023年 7月31日	支部総会	
	2023年 7月31日	運転業務研究発表会	
(6) 広島支部	2023年 7月25日	会計監査	
	2023年 8月 2日	支部総会	
	2023年 8月 2日	運転業務研究発表会	
(7) 四国支部	2023年12月22日	会計監査	
	2024年 1月12日	支部総会	講演
(8) 九州支部	2023年 6月 7日	会計監査	
	2023年 7月27日	運営委員会	
	2023年 7月27日	支部総会	講演
(9) 関東部会	2023年 9月 5日	部会	

### 1.3 講演・試乗会

#### (1) 講演会

- ・第13回定時社員総会 2023年6月30日  
講演者 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 青柳 俊彦様  
演 題 九州を元気に！—JR九州のこれまでとこれから—
- ・中部支部総会 2023年9月 7日  
講演者 医師 精神指定医 日本医師会認定産業医 労働衛生コンサルタント  
(保健衛生) 小藪 智也様彦  
演 題 「鉄道会社におけるメンタルヘルスケア」
- ・四国支部総会 2024年1月12日  
講演者 四国旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 運輸部 担当部長 佐藤 重喜様  
演 題 「JR 西日本のリスクアセスメント、リスク低減と安全を最優先する企業風土づくりの取り組み」
- ・九州支部総会 2023年7月27日  
講演者 スターバックスコーヒージャパン元 CEO 岩田 松雄様  
演 題 「ミッション：なぜ私たちは働くのか？」

#### (2) 試乗会

- ・2023年6月 東武鉄道株式会社 SPACIAX 「N100系」試乗会 (150名)



- ・ 2023年6月 大阪市高速電気軌道株式会社 新型車両「400系」試乗会（46名）
- ・ 2023年7月 泉北高速鉄道株式会社 新型車両「9300系」試乗会（39名）
- ・ 2024年3月 北大阪急行株式会社 新駅間（箕面船場阪大目駅～箕面萱野駅）  
内覧会・試乗会（41名）

#### 1.4 役員及び職員等（2024年3月31日現在）

役職名	定員	実員
代表理事・会長	1名	1名
代表理事・専務理事	1名	1名
執行理事	2名以内	2名
理事（上記を除く）	46名以内	44名
監事	2名以上5名以内	3名
職員・嘱託	—	9名

#### 1.5 会員数（2024年3月1日現在）

正会員（個人）	23,658名（対前年同期比	666名減）
法人会員	226社（対前年同期比	0社減）

### Ⅲ 事業関係

#### 1 2023年度の主な事業概要は、以下のとおりである。

- (1) 運転協会誌は、旬なテーマを特集として取り上げ、読者が興味を持ち、役立つ内容の編集に注力した。
- (2) 受託調査研究は、国土交通省から「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第113条（停止を指示する信号の現示）等に関する調査検討」、「令和5年度動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」、「令和5年度動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」の3件を受託した。  
なお、鉄道事業者からの受託件名は東日本旅客鉄道株式会社から、「新幹線自動運転検討委員会」を受託した。
- (3) 自主研究は『乗務員のヒューマンエラーにおける未然防止対策および再乗務への教育指導について』3月22日開催の第2回委員会で承認された。
- (4) 2023年度の講習会は、運転設備研修講座（85名）、運転法規研修講座（67名）、運転理論（運転曲線）講習会（70名）、運転関係指導者講習会（226名）、運輸業務管理ゼミナール（64名）の合計512名の受講者の参加があった。
- (5) 運転業務研究発表会は、44回目となり11月9日、10日に開催され30件の研究テーマの発表があった。今回、聴講については新型コロナウイルス感染状況の鎮静化に伴い、入場者は制限せず延べ人数48事業者520名であった。
- (6) 海外鉄道視察団派遣は、新型コロナウイルスが5類感染症の扱いとなり行動制限が緩和されたことから、9月18日～27日までの10日間欧州3か国を訪問視察した。
- (7) 平成23年4月1日にリスク情報共有化の仕組みの一環として、安全情報委員会を設置し、平成23年7月1日より、当面、法人会員30事業者（JR7社、公営7都市、大手民鉄16社）を対象とし、インデックス情報等からなる新しい情報共有のしくみを構築し、活動を開始した。2023年度においては、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

#### 2 運転協会誌発行

第65巻4月号から第66巻3月号までを発行した。前年に引き続き協会会員の要望に応えるよう出来るだけ各号を特集化し、資料としても活用できるように配慮した編集に尽力して、会員の負託に応えられるよう更なる内容の充実を図った。

2023年	4月号	乗務員養成	特集
〃	5月号	新入社員研修	特集
〃	6月号	ダイヤ改正	特集
〃	7月号	運転整理	特集
〃	8月号	地方鉄道	特集
〃	9月号	定期外旅客の創造	特集
〃	10月号	自動運転	特集
〃	11月号	自然災害	特集
〃	12月号	降積雪対策	特集
2024年	1月号	(新年号のため特集なし)	
〃	2月号	業務研究	特集
〃	3月号	運行管理システム	特集

### 3 図書発行・販売

- (1)「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（第八版）（令和2年4月発行）  
省令及び解釈基準を制定した時点での技術的根拠、事例等の考え方等をまとめものであり、実施基準の策定、管理、運転の取扱い等に活用が期待される書で、販売数は283冊であった。
- (2)「運転理論（再改訂版）」（初版）（平成22年5月発行）  
輸送計画における運転理論の役割、基礎項目の解説から運転線図の作成までを最近の鉄道技術の進歩に合わせて改訂した詳細解説の専門書で、販売数は142冊であった。
- (3)「鉄道のスピードアップ」（第四版）（平成8年7月発行）  
鉄道のスピードアップの技術は、車両・施設・電気・運転等全般にわたるため、各専門分野の第一人者の方々の協力を得て、体系的に整理された技術書で、販売数は12冊であった。
- (4)「鉄道の運転保安設備（付 輸送計画実務の手引き）」（初版）（平成18年9月発行）  
鉄道の運転保安設備に関する基本的な考え方や、新しいシステム・機器の開発を含め、輸送・運転・設備関係者の実務・教習用としてまとめ整理された専門技術書で、販売数は121冊であった。
- (5)「重大運転事故記録・資料（復刻版）追補第二版 昭和62年4月～平成23年3月」  
（平成25年12月発行）  
鉄道有史以来平成23年3月までの旧日本国有鉄道及び地方鉄道・軌道における重大事故記録をまとめたもので、鉄道の運転・保安業務に携わる方々を中心に購入希望があり、57冊の販売数であった。
- (6)「安全の仕組みから解く 鉄道の運転取扱いの要点」（初版）（平成24年8月発行）  
鉄道の安全の仕組みの生い立ちと現在の運転取扱いとの関わりについてまとめたもので、鉄道事業者の関係者などに向けた専門書であるが、易しく核心を捉えた解説書で、販売数は63冊であった。
- (7)「安全のキーポイント～ヒューマンエラーの防止～」（復刻版）（平成26年2月発行）  
平成8年以来、絶版となっていたが、会員の要望により復刻した。実務を基礎としたヒューマンエラーの防止を「こころの働き」「適性」「からだのリズム」「乗務作業の特徴」「エラー行動」「教育・指導方法」「運転用機器」「健康管理」の8つのキーとして捉え、解説をしている指導・保安担当関係者の基礎学習書で、販売数は29冊であった。
- (8)「実践運転概論」（第二版）（令和2年6月発行）  
協会顧問が永年にわたって講習した内容をわかりやすくまとめて、書籍として発行した。また、一部版の改訂を行った。販売数は113冊であった。
- (9)「わかりやすい運転操縦実務」（初版）（平成27年3月発行）  
平成25年度、26年度にかけて設置した「わかりやすい運転操縦実務研究委員会」による報告書を元に書籍化した。運転士目線での運転操縦実務を解説した技術解説書で、販売数は48冊であった。

(10)このほか、運転協会誌の一般書店等における販売数が661冊であった。

#### 4 受託調査研究

- (1)「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第11条（動力車を操縦する係員の乗務等）等に関する調査検討」（国土交通省委託）

鉄道の技術基準については、平成14年3月に技術基準省令が性能規定化されて以来、国土交通省から、この省令等の運転関係における見直しについての調査検討を委託されている。2023年度は、GoA2.5自動運転において、「緊急停止操作を行う係員（以下、「GoA2.5係員」という。）を列車の最前部の車両の前頭に乗務させる場合」の、省令第11条（動力車を操縦する係員の乗務等）の解釈基準の中で、GoA2.5係員の位置づけ等について検討した。

また、通過信号機が使用できないときに停車場を通過する列車に対して使用する通過手信号について、実態を調査し、技術基準省令第117条等のあり方を検討した。

なお、「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（通称、「緑本」）の見直しについては、技術基準調査研究会（運転）のもとで自主研究として当協会が事務局となって進め、取りまとめを行った。

- (2)「令和5年度 動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」（国土交通省委託）

動力車操縦者の運転免許制度については、昭和31年に制定された動力車操縦者運転免許に関する省令（以下、「動免省令」という。）において、制度を定め、これまで運用されている。また、動免省令に規定される指定養成所については、昭和44年に制定された通達「指定動力車操縦者養成所に対する指導基準」（以下、「指導基準通達」という。）において、講習内容や使用教材等の運転士養成に必要な項目が定められているが、制定されて以降、一度も大きな見直しが行われないまま、今日に至っている。

一方、この間のハイブリッド車両等の導入や、CAI教材やシミュレータ等の効率的な学習を実現するための教材の充実等により、制定当時とは環境が大きく異なっていることから、運転士の資質の維持向上と鉄道輸送の安全が確保されることを前提に、令和5年度は動免省令並びに指導基準通達に対する鉄道事業者の意向を調査し、制度の見直しに向けた検討を国土交通省から委託され、報告した。

- (3)「令和5年度 動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」（国土交通省委託）

動力車操縦者の身体検査（視機能・聴力）について、現在、省令で定められている「視野、両眼視機能及び色覚について正常であること」とされているが、各視機能について「動力車の操縦に支障を及ぼすと認められる異常がないこと」に修正することについて合意を得て国土交通省に報告した。

また、各耳とも5メートル以上の距離でささやく言葉を明らかに聴取できること。（以下、「囁き声検査方式」という。）と定められている基準を、将来オーディオ・メーターでも測定可能な数値基準に見直すことを想定し、動力車操縦者が聴取すべき音の種類や暗騒音等に関する調査を令和4年度に続き委託され、国土交通省に報告した。

令和5年度においても、上記調査に加え、聴力検査を囁き声検査方式で実施している鉄道事業者を訪問し、囁き声の音圧と周波数を測定し、数値基準との整合性を検討するための基礎データを収集した。

- (4)「新幹線自動運転検討委員会」（JR東日本委託）

少子高齢化や働き方改革などにより社会環境が変化する状況においても、効率的でサステナブルな鉄道経営を維持し、より安全かつ利便性の高い輸送サービスの実現を目指し、現在新幹線の自動運転実現に向けた検討・開発を行っている。システムの安全性や信頼性、運転取扱いなど様々な角度から検討を進めるため、「新幹線自動運転検討委員会」を設立した。

委員会を効率的に運営するための検討課題に関する成果物整理、議事録作成・整理等をJR東日本より委託され、3回実施（5回開催予定）

## 5 自主研究

2022年度（第41回）調査研究テーマ『乗務員のヒューマンエラーにおける未然防止対策および再乗務への教育指導について』第1回委員会にて承認のもと、4月に委員会29社局へアンケート調査を実施した。第3回の小委員会と20回の幹事会を開催すると共に、研究成果を2023年3月23日に開催した第2回委員会で報告、承認いただいた。2024年5月中旬を目途に製本、実効性の高いものを各事業者へ配布する。

## 6 講習会等

### (1) 第28回運転設備研修講座

- ・ 施行日 2023年6月7日～9日
- ・ 会場 機械振興会館
- ・ 受講者 85名
- ・ 講師 (順不同・敬称略)  
国土交通省鉄道局技術企画課 電気基準係長 荒井 健吾 氏  
東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 安全企画部主幹 片方 喜信 氏  
一般社団法人日本鉄道運転協会 技術部長 寒河江 仁 氏  
一般社団法人日本鉄道運転協会 顧問 石井 信邦 氏

### (2) 第28回運転理論（運転曲線）講習会

- ・ 施行日 2023年8月22日～25日
- ・ 会場 機械振興会館
- ・ 受講者 70名
- ・ 講師  
元JR水戸鉄道サービス(株) 監査役 赤津 尚孝 氏

### (3) 第29回運転法規研修講座

- ・ 施行日 2023年9月6日～8日
- ・ 会場 機械振興会館
- ・ 受講者 67名
- ・ 講師 (順不同・敬称略)  
国土交通省鉄道局技術企画課 運転基準係長 鈴木 健仁 氏  
東京地下鉄(株) 安全・技術部 技術管理担当部長 作原 敏弘 氏  
一般社団法人日本鉄道運転協会 顧問 石濱 順吉 氏

### (4) 第58回運転関係指導者講習会

- ・ 開催日 前期 2023年10月 4日(水)～6日(金)  
後期 2023年10月18日(水)～20日(金)
- ・ 会場 機械振興会館
- ・ 受講者 226名(前期122名 後期104名)
- ・ 講師(順不同、敬称略)  
国土交通省 鉄道局 安全監理官 黒川 和浩 氏  
JR東日本健康推進センター 所長 笠原 悦夫 氏  
(株)JR東日本パーソネルサービス 医学適性科担当部長 山本 尚寿 氏  
常務取締役  
総合研修センター  
事業本部 副本部長 佐藤 寿 氏  
株式会社ルミネクリエーツ 代表取締役社長 土屋 博一 氏  
(株)JR東日本パーソネルサービス コンサルティング  
事業部マネージャー 吉田 秀貴 氏

政策研究大学院大学	教授	鈴木 博人 氏
J R 東日本研究開発センター	シニアリーダー(ヒューマンファクター)	楠神 健 氏
J R 東日本研究開発センター	ユニットリーダー(ヒューマンファクター)	藤代 博明 氏
J R 東日本研究開発センター	ユニットマネージャー(ヒューマンファクター)	千葉 武史 氏
(株)パーソネルサービス(派遣依頼)	(株)オンリーワン専属講師	川添 美和 氏

(5) 第21回 運輸業務管理ゼミナール

- ・ 施行日 2024年2月8日～9日
- ・ 会場 機械振興会館
- ・ 受講者 64名
- ・ 講師 (順不同・敬称略)

国土交通省 鉄道局	安全監理官	黒川 和浩 氏
元帝都高速度交通営団		佐藤 公一 氏
(株)オンリーワン	専属講師	小島 順子 氏
東急電鉄株式会社	総括産業医	伊藤 克人 氏
静岡英和学院大学	教授	重森 雅嘉 氏
西日本旅客鉄道株式会社	安全研究所担当部長	鶴原 修 氏

7 第63回海外鉄道視察団派遣

2023年度の海外鉄道視察団派遣は、参加者18名で開催、9月18日～27日までの10日間の行程で欧州3か国(スウェーデン、ドイツ、スイス)を訪問、視察を行った。

8 第44回運輸業務研究発表会

- (1) 実施日 2023年11月 9日(木)、11月10日(金)
- (2) 会場 機械振興会館 ホール
- (3) 聴講者 無料 入場制限なし
- (4) 発表社局と発表テーマ 27社局30テーマ (2023年度までの累積発表件数1,002件)
- (5) 発表者と表彰結果

第44回運輸業務研究発表作品数は30件の応募があり、発表後の審査結果は、鉄道局長賞1社、協会会長賞1社、交通新聞社賞1社、審査委員特別賞1社、優秀賞7社、奨励賞7社、努力賞12社であった。

(運輸業研発表会作品成績表 別紙-1参照)

9 創立記念式典及び表彰関係

2024年1月26日創立65周年記念式典を飯田橋ホテルメトロポリタンエドモントにおいて挙行し、東記念賞、運輸功労者表彰、運輸協会誌優秀作品賞及び協会功績者褒章の表彰を行った。

(運輸功労者賞、運輸協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞名は、別紙-2, 3 参照)

(1) 東記念賞

件 名	受賞者
相鉄新横浜線・東急新横浜線の開業 ～つながる！相鉄・東急直通線～	相模鉄道株式会社 東急電鉄株式会社

- (2) 運転功労者賞：鉄道の運転業務に顕著な功績があつて支部長から推薦された29名に表彰状を授与した。累計では2023年度までに1,235名となっている。
- (3) 運転協会誌優秀作品賞：運転協会誌において特に優秀と認められた作品に対して優秀論文会長賞1名、優秀論文賞3名、優秀エッセイ賞4名に表彰状を授与した。
- (4) 協会功績者褒賞：運転協会の発展に特に貢献された2名に褒賞を授与した。

#### 1.0 運転協会誌表紙写真コンテスト

2024年度用運転協会誌表紙写真コンテスト（応募者60名、作品237点）は、2024年3月7日の審査で入選作品を決定し、表彰した。

特選	驀進	相模鉄道（株）	中久喜 保 氏
1等	斜陽を受けて	京王電鉄（株）	吉田 忠司 氏
	涼風	近畿日本鉄道（株）	岩崎 武 氏
	イブマクの長夜	京浜急行電鉄（株）	小林 航 氏
2等	6点		
佳作	10点		

（運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者一覧 別紙－4 参照）

## 事業報告の付属明細書

## 2023年度 第44回運輸業務研究発表会 研究作品成績表

2023年11月9日・10日

場所：機械振興会館

賞	標 題	会 社 名	職 場 名
鉄道局長賞	運転中における適切な注意配分について	東海旅客鉄道株式会社	名古屋運輸区
協会会長賞	THINKS 鉄道の未来に新たな可能性を	京浜急行電鉄株式会社	新町乗務区
交通新聞社賞	「ワイヤレスイヤホン拾得を安全に行うために」	京王電鉄株式会社	京王東管区、相模原管区
審査員特別賞	獲める文化の定着！ポジティブマインド効果	東武鉄道株式会社	森林公園乗務管区
優秀賞	特別支援学校と共に歩む ～安全・安心を求めて～	近畿日本鉄道株式会社	津駅
優秀賞	過去の事故を風化させない ～次の10年へ～	阪急電鉄株式会社	神戸線運輸課運輸係
優秀賞	車イス介助忘れ防止に向けた取り組み	京阪電気鉄道株式会社	京都列車区、枚方エリア
優秀賞	「北海道クルーズ」最高の運転を目指して	北海道旅客鉄道株式会社	苗穂運転所、運輸部運用課
優秀賞	考えて話せる人へ	東急電鉄株式会社	長津田車掌区
優秀賞	アイトラッキングを活用した視線リスク低減に向けた研究	西日本旅客鉄道株式会社	京都電車区
優秀賞	運輸データを活用した生産性向上の取り組み	東日本旅客鉄道株式会社	秋田運輸区
奨励賞	DX化で『めざせ！ホームドアマスター』	東京地下鉄株式会社	有楽町・副都心線乗務管区
奨励賞	操縦方法による定時性と電力削減の両立手法	西武鉄道株式会社	小手指乗務所
奨励賞	持続可能な満足のいく安全	大阪市高速電気軌道株式会社	中百舌鳥乗務所
奨励賞	「小田急防衛軍」が目指す世界	小田急電鉄株式会社	海老名乗務所
奨励賞	ヒューマンエラー削減のための一考察	仙台空港鉄道株式会社	運輸管理所
奨励賞	ITソリューションを活用した教育資料の作成	日本貨物鉄道株式会社	札幌機関区
奨励賞	乗務員の應對における負担軽減の研究	東海旅客鉄道株式会社	富士運輸区
努力賞	扉事故防止ツール「各駅ミエル君」の考案	阪急電鉄株式会社	宝塚線運輸課運輸係
努力賞	経済運転を実践してもらうために	箱根登山鉄道株式会社	総合運転所
努力賞	運転事故と基本動作について	四国旅客鉄道株式会社	高知運転所運転科
努力賞	「地震発生時のお客さま対応について」	名古屋鉄道株式会社	名古屋乗務区、神宮前乗務区
努力賞	経験浅薄者教育ツールの作成 ～扉操作時における5秒間の確認～	北大阪急行電鉄株式会社	運輸課
努力賞	系統を越えた連携で工事取扱いの事故を防止	愛知環状鉄道株式会社	指令担当
努力賞	繋げ！『安全・安心』	南海電気鉄道株式会社	高野線堺管区
努力賞	【異常時の対応力向上を目指して】～お客さまが知りたい情報の提供～	阪神電気鉄道株式会社	運転指令室、東部列車所、西部列車所
努力賞	基本動作の徹底による安全確保について	札幌市交通局	東豊線乗務係
努力賞	下郡信号場「意識の迂回」を防ぐ色の効果	九州旅客鉄道株式会社	大分乗務センター
努力賞	「新しい訓練方法を取り入れた乗務員への車両訓練」	近畿日本鉄道株式会社	名張列車区
努力賞	ヒューマンエラーを未然に防止	西日本鉄道株式会社	筑紫乗務所



## 別紙-2 2023年度運転功労者表彰

## 2023年度 運転功労者表彰

番号	支部	賞	社名	所属部署・役職	氏名
1	北海道	運転功労者	札幌市交通局	運輸課 乗務担当課長	柿崎 博幸
2	東北	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	盛岡支社 一ノ関統括センター 副所長（乗務統括）	若本 大喜
3	新潟	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	新潟運輸区 区長	小野沢 信也
4	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	八王子支社 鉄道事業部 モビリティ・サービスユニット 指令室 マネージャー（指令室長）	小林 広幸
5	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	横浜支社 小田原・伊豆統括センター 副長（乗務・運行管理統括）	押味 大
6	関東	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	新幹線鉄道事業本部 運輸営業部 輸送課 課長代理	増田 道義
7	関東	運転功労者	東京都交通局	電車部 運転課 課長代理（運行計画担当）	平賀 一政
8	関東	運転功労者	東京地下鉄株式会社	鉄道本部 運転部 運転企画課 課長補佐	森田 一行
9	関東	運転功労者	東武鉄道株式会社	運輸部 東上運行管理所 所長	武井 博之
10	関東	運転功労者	西武鉄道株式会社	鉄道本部 運輸部 次長	高橋 正信
11	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	運輸部 八千代台駅 駅長	嶋田 英明
12	関東	運転功労者	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 鉄道教習所 課長補佐	落合 忠史
13	関東	運転功労者	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運転車両部 大野乗務所 助役	工藤 英雄
14	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 安全戦略推進委員会 課長補佐	小林 太郎
15	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 運輸部 運転課 課長補佐	山口 嘉之
16	関東	運転功労者	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 鉄道乗務員育成所 所長	峯村 直樹
17	関東	運転功労者	東葉高速鉄道株式会社	運輸施設部 運輸指令所 運輸指令長	伊藤 宣一
18	関東	運転功労者	首都圏新都市鉄道株式会社	運輸部 総合指令所 所長	萩野谷 勝彦
19	中部	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	静岡支社運輸営業部 運用車両課 課長代理	入口 忠
20	中部	運転功労者	名古屋鉄道株式会社	大曾根幹事駅 幹事駅長	鷲見 靖史
21	中部	運転功労者	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 名古屋統括部 運輸部 運行課 課長補佐	奥野 文昭
22	関西	運転功労者	西日本旅客鉄道株式会社	鉄道本部 運輸部 運転士課 担当課長	阿川 啓三
23	関西	運転功労者	南海電気鉄道株式会社	高野線堺管区 駅長	佐藤 浩二
24	関西	運転功労者	京阪電気鉄道株式会社	営業推進部 営業課 計画係 係長	栗林 竜也
25	関西	運転功労者	阪神電気鉄道株式会社	都市交通事業本部 運輸部 運転課 課長補佐	鍵政 昌寿
26	関西	運転功労者	山陽電気鉄道株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 運転教育課 運転教育課長	大岡 健三
27	広島	運転功労者	日本貨物鉄道株式会社	関西支社 広島支店 幡生総合鉄道部 部長	久保井 唯文
28	四国	運転功労者	四国旅客鉄道株式会社	高松運転所 所長	大喜多 啓邦
29	九州	運転功労者	株式会社J R西日本中国メンテック	新幹線事業部 安全推進室 室長	牧之内 健二

別紙－3 運転協会誌優秀作品賞表彰者及び運転協会功績者褒章

2023年運転協会誌 優秀論文会長賞、優秀論文賞、優秀エッセイ賞

1. 優秀論文会長賞

執筆者名	会社名	標 題
矢津田光雄	相模鉄道	単純明快なダイヤから複雑なSTダイヤへの変貌 (2023.6月号)

2. 優秀論文賞

執筆者名	会社名	標 題
加覧 剛宏	京浜急行電鉄	もつと地域とともに。京急線ダイヤ改正 (2023.6月号)
縄田 雅之	東京地下鉄	無線式列車制御システム(CBTC)の導入に向けた取組み ーシステム概要, 運転取扱いの策定, 教育の実施ー (2023.3月号)
須田 康之	日本貨物鉄道	日本各地の保安装置に対応した貨物列車 (2023.3月号)

3. 優秀エッセイ賞

執筆者名	会社名	標 題
谷本 悟	黒部峡谷鉄道	【鉄道紀行】(434) 黒部峡谷トロッコ電車 絶景の旅 (2023.4月号)
岸野 誠	京浜急行電鉄	【運転日誌余話】(376)車掌編 憧れの背中を追いかけて (2023.8月号)
相馬 孝章 松橋 信広	東日本旅客鉄道 日本鉄道構内営業中央会	【ニュース】鉄道開業150年と駅弁 (2023.4月号)

2023年度 協会功績者褒章

氏 名	会社名	職 名
松岡 善浩	京阪電気鉄道株式会社	営業推進部 課長
中村 徹也	東武鉄道株式	春日部乗務管区 管区長

別紙—4 2024年度運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者

2024年度運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者

応募総数 60名 237点

賞	氏名	所属会社	作品名
特選	中久喜 保	相模鉄道(株)	鷲進
1等	吉田 忠司	京王電鉄(株)	斜陽を受けて
	岩崎 武	近畿日本鉄道(株)	涼風
	小林 航	京浜急行電鉄(株)	イブマクの長夜
2等	佐藤 峻	東急電鉄(株)	爆雪
	小坂橋美次	東日本旅客鉄道(株)	至福の旅
	南部 司	東急電鉄(株)	シールドトンネル
	谷口 清和	相模鉄道(株)	時を止める水鏡
	山田 里美	小田急電鉄(株)	白煙
	三浦 大介	相模鉄道(株)	弥生台の桜とヒカリエ号、相直開業で実現!!
佳作	固山 敏行	電気技術開発(株)	緑の森を抜けて
	佐久間幸道	小田急電鉄(株)	森を抜けて
	南部 司	東急電鉄(株)	新緑とレンガトンネル
	吉田 忠司	京王電鉄(株)	夕暮
	原田 将浩	南海電気鉄道(株)	オーバークロス
	太田 徹	西武鉄道(株)	桜とラッセル車
	中久喜 保	相模鉄道(株)	猛進
	荒井 剛	東武鉄道(株)	新旧多彩
	谷元 健治	東京地下鉄(株)	ヨンマル最果てを往く
	小林 航	京浜急行電鉄(株)	白羽の矢

## 報告2 2024年度事業計画及び予算

## 2024年度事業計画及び予算

### I 2024年度事業計画

新型コロナウイルス感染拡大による行動制限が解除されて経済状況は改善しつつあり、中でも旅行業界では、訪日外国人数は昨年末にコロナ前と同水準に回復し、円安の影響もあり中国を除く東アジアや米国からの観光客は増加傾向にあります。

一方で物価面では、緩やかなインフレが定着する見通しで、経費の上昇は避けられない見込みとなっています。また、深刻化する人手不足の問題に対応し、労働力の確保には女性やシニアを最大限に活用するとともに、外国人労働者の受け入れ拡大が不可欠となっており、鉄道分野においても外国人材受け入れに関する検討が進められています。

2024年度については、会員相互間の情報共有と研鑽に資するという協会の使命を果たすべく、運転業務研究発表会、各種委員会、各種講習会でのコミュニケーションをより活発にするとともに、より実践的な知識の習得を目的とした講習内容にアップグレードするなど、会員各社の発展に貢献していきます。また、今年度も海外鉄道視察団を通じて、イノトランスの視察など海外の最先端情報を取得するとともに、現地の鉄道を訪問し意見交換を行うなど、海外交流にも努めます。さらに、鉄道事業者、国土交通省と連携した向上委員会を設置して推敲を重ねた、解説書である技術基準の運転編を発刊して、講習会での活用や各社局からの問い合わせに役立てていきます。

会員の負託に応えるべく、魅力的な活動に努めるとともに、一層の業務の効率化と経費の削減を図ります。

#### 1 会務関係

(1) 第14回評議委員会	2024年 6月28日 (金)
(2) 第14回定時社員総会	2024年 6月28日 (金)
(3) 理事会	第53回 2024年 6月28日 (金)
	第54回 2024年 6月28日 (金)
	第55回 2024年11月22日 (金)
	第56回 2025年 3月 7日 (金)
(4) 運営委員会	第18回 2024年 8月20日 (火)
(5) 関東部会	第50回 2024年 9月 3日 (火)
(7) 支部長会議 (理事会と同時開催)	第29回 2024年11月22日 (金)
(8) 東記念賞選考委員会 (理事会と同時開催)	2024年11月22日 (金)
(9) 第66回創立記念式典	2025年 1月29日 (水)
(10) 企画委員会	原則として奇数月の第3木曜日に開催
(11) 運転管理研究委員会	原則として年2回開催 (5月及び11月)
(12) 安全情報委員会	原則として年1回開催
(13) 編集委員会	毎月上旬に開催
(14) 運転業務改善研究委員会	原則として毎月1回開催
(15) 運転協会全国事務担当者打合会議	原則として年2回開催(上期と下期)

#### 2 事業関係

(1) 協会誌発行事業

従来と同様、運転協会誌を輸送関係の情報誌及び会員相互の連携を深める会員誌として、さらに内容の充実に努める。

(2) 表彰等事業

第66回創立記念式典を2025年1月29日(水)、ホテルメトロポリタンエドモント(水道橋)で挙げるのに併せて、東記念賞、運転功労者表彰、運転協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞の表彰を行う。

(3) 調査研究事業

ア 調査研究

鉄道・軌道の技術基準に関する見直し作業を推進する他、運転業務改善研究委員会を開催し引き続き課題の自主研究を行う。

イ 運転業務研究発表会

運転業務研究発表会(第45回)を2024年11月14日(木)～15日(金)に開催する。

ウ 鉄道事業者に対する教育支援事業

鉄道事業者の要望に応じ、随時実施する。

(4) 講習会事業

各講習会は、理解を深め知識を習得する目的で集合研修を行います。

ア 運転設備研修講座		2024年	6月12日(水)～14日(金)
イ 運転理論(運転曲線)講習会		2024年	8月27日(火)～30日(金)
ウ 運転法規研修講座		2024年	9月4日(水)～6日(金)
エ 運転関係指導者講習会	前期	2024年10月	9日(水)～11日(金)
	後期	2024年10月	23日(水)～25日(金)
オ 運輸業務管理ゼミナール		2025年	2月6日(木)～7日(金)

(5) 広告・図書発行、販売事業

協会誌掲載の広告の募集を行う他、引き続き以下の書籍の販売及び新刊書の発行検討を行う。

ア 「運転理論」(再改訂版) 基礎知識と応用	(2010年8月20日初版発行)
イ 「鉄道のスピードアップ」	(1996年7月5日第4版発行)
ウ 「解説 鉄道に関する技術基準(運転編)」	(2019年12月20日第8版発行)
エ 「鉄道の運転保安設備(付 輸送計画実務の手引き)」	(2006年9月15日初版発行)
オ 「重大運転事故記録・資料(復刻版) 追補(第2版) 昭和62年4月～平成23年3月」	(2013年12月5日初版発行)
カ 「安全の仕組みから解く 鉄道の運転取扱いの要点」	(2012年8月5日初版発行)
キ 「安全のキーポイントヒューマンエラーの防止(復刻版)」	(2014年2月10日初版発行)
ク 「実践運転概論」	(2015年4月3日第2版発行)
ケ 「わかりやすい運転操縦実務」	(2015年3月20日初版発行)

(6) その他

ア 正会員、法人会員各社の関係者名簿の整備・作成

イ 運転協会誌表紙写真コンテストの実施

ウ 情報・資料の提供

エ 業務相談等の実施

オ 受託する運転業務関係の研究・調査事業の推進

カ 本部主催の講演会を行う他、支部が計画する講演会については、必要に応じて本部が支援する。

キ 試乗会、見学会等

本部・支部主催の試乗会、見学会を随時計画・実施する。

2024年度 事業別収支予算  
2024年4月1日から 2025年3月31日まで

単位:円

事業別 勘定科目	実施事業等会計					その他会計	法人会計	2024年度	2023年度	対前年
	協会誌 発行	表彰等	調査 研究	講習会	計	広告・図書 発行	管理	予 算 (a)	決算見込 (b)	増 減 (a)-(b)
経常増減の部										
経常収益										
事業収益	4,480,000	0	25,818,000	27,015,000	57,313,000	8,588,120	0	65,901,120	50,462,392	15,438,728
実施事業等	4,480,000	0	25,818,000	27,015,000	57,313,000			57,313,000	46,985,783	10,327,217
その他事業						8,588,120		8,588,120	3,476,609	5,111,511
法人収益	0	0	0	0	0	0	142,083,449	142,083,449	144,638,251	-2,554,802
特定資産運用益					0		464	464	452	12
受取入会金					0		4,800	4,800	16,800	-12,000
受取会費					0		142,078,000	142,078,000	144,620,780	-2,542,780
雑収益					0		185	185	219	-34
経常収益計	4,480,000	0	25,818,000	27,015,000	57,313,000	8,588,120	142,083,449	207,984,569	195,100,643	12,883,926
経常費用										
経常費用計	80,174,803	7,552,869	39,453,417	37,075,185	164,256,275	6,156,301	37,175,905	207,588,481	201,737,369	5,851,112
当期経常増減の部	-75,694,803	-7,552,869	-13,635,417	-10,060,185	-106,943,275	2,431,819	104,907,544	396,088	-6,636,726	7,032,814
経常外増減の部										0
経常外収益								0	0	0
経常外費用								0	0	0
当期経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-75,694,803	-7,552,869	-13,635,417	-10,060,185	-106,943,275	2,431,819	104,907,544	396,088	-6,636,726	7,032,814
一般正味財産期首高								144,662,413	151,299,139	-6,636,726
一般正味財産期末高								145,058,501	144,662,413	396,088

## 第1号議案

2023年度決算の承認に関する件



貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目		当年度	前年度	増減額	
		(a)	(b)	(a - b)	
<b>I. 資産の部</b>					
1 流動資産	現金	647,074	569,166	77,908	
	普通預金	57,882,583	93,525,914	-35,643,331	
	振替貯金	63,613,021	37,996,599	25,616,422	
	現金・預金計	122,142,678	132,091,679	-9,949,001	
	未収会費	8,113,200	9,769,750	-1,656,550	
	未収金	13,595,710	9,025,260	4,570,450	
	貯藏品	4,042,809	4,095,050	-52,241	
	前渡金	974,021	2,306,150	-1,332,129	
	仮払金	530,450	602,870	-72,420	
	前払費用	1,460,741	192,799	1,267,942	
	流動資産合計	150,859,609	158,083,558	-7,223,949	
2 固定資産					
(1) 特定資産					
	退職給付引当預金	普通預金	6,362,500	6,825,500	-463,000
	創立記念事業引当預金	普通預金	9,000,000	9,000,000	0
	資産除去債務準備預金	普通・定期預金	22,000,000	22,000,000	0
	災害対策準備預金	普通預金	10,000,000	10,000,000	0
	特定資産合計		47,362,500	47,825,500	-463,000
(2) その他固定資産				0	
	什器備品		3,929,331	3,929,331	0
	ソフトウェア		999,000	999,000	0
	減価償却累計額		-4,728,819	-4,609,936	-118,883
	保証金		5,000,000	5,000,000	0
	その他固定資産合計		5,199,512	5,318,395	-118,883
	固定資産合計		52,562,012	53,143,895	-581,883
	資産合計		203,421,621	211,227,453	-7,805,832
<b>II. 負債の部</b>					
1 流動負債					
	未払金		5,330,748	5,092,714	238,034
	未払費用		700,000	0	700,000
	前受会費		3,037,600	3,089,000	-51,400
	預り金		1,027,562	892,100	135,462
	未払消費税等		866,300	1,337,000	-470,700
	未払法人税等		70,000	70,000	0
	賞与引当金		1,202,700	1,622,000	-419,300
	流動負債合計		12,234,910	12,102,814	132,096
2 固定負債				0	
	退職給付引当金		6,362,500	6,825,500	-463,000
	創立記念事業引当金		9,000,000	9,000,000	0
	資産除去債務引当金		22,000,000	22,000,000	0
	災害対策準備金		10,000,000	10,000,000	0
	固定負債合計		47,362,500	47,825,500	-463,000
	負債合計		59,597,410	59,928,314	-330,904
<b>III. 正味財産の部</b>					
1 一般正味財産				0	
	正味財産合計		143,824,211	151,299,139	-7,474,928
	負債及び正味財産の合計		203,421,621	211,227,453	-7,805,832

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場 所・物 量 等	使 用 目 的	金 額
<b>資産の部</b>			
流動資産			
現 金	手もと保管	運転資金として	647,074
預 金	普通預金	運転資金として	57,882,583
	三井住友銀行 神田駅前支店		( 15,745,937 )
	三井住友銀行 上野支店		( 34,327,305 )
	みずほ銀行 神田駅前支店		( 7,740,483 )
	三菱UFJ信託銀行 本店		( 9,183 )
	三菱UFJ信託銀行 本店 5		( 59,675 )
	振替貯金	運転資金として	63,613,021
	郵便振替・東京貯金事務センター		
未収会費	2023年度会費	法人会計収益へ	8,113,200
未 収 金	JR受託料、協会誌購読料、書籍売上	調査研究事業、協会誌発行事業 広告・図書事業収益へ	13,595,710
貯 蔵 品	本部事務室(有償図書一部業者)	販売用図書、郵券類の棚卸資産	4,042,809
前 渡 金	各支部への助成金	各支部運営の為の助成金	974,021
仮 払 金	2024年度4月以降通勤定期券等	職員等に対する通勤定期代	530,450
前払費用	協会誌発行事業 費用	原稿料および座談会交通費	1,460,741
流動資産合計			150,859,609
<b>固定資産</b>			
特定資産			
退職給付引当預金	普通預金	職員等に対する退職金支払いに備えるため	6,362,500
	三菱UFJ銀行 上野中央支店		( 6,362,500 )
創立記念事業引当預金	普通預金	創立記念式典の為の準備金	9,000,000
	三井住友銀行 上野支店		( 9,000,000 )
資産除去債務準備預金	普通預金	事業所の原状回復に必要とされる準備金	22,000,000
	三井住友銀行上野支店		( 19,000,000 )
	定期預金		( 3,000,000 )
	三菱UFJ信託銀行		
災害対策準備預金	普通預金	大災害時における会員救済の為の準備金	10,000,000
	三井住友銀行上野支店		( 10,000,000 )
その他固定資産			
什器備品	本部事務室	実施事業会計、その他事業会計及び法人会計の用に供している	3,929,331
ソフトウェア	本部事務室	会員管理システムに運用している	999,000
減価償却累計額		法人会計の用に供している	-4,728,819
保 証 金	本部事務室	サンフロンティア不動産(株)(貸主)	5,000,000
固定資産合計			52,562,012
資 産 合 計			203,421,621
<b>負債の部</b>			
流動負債			
未払金	運転協会誌4月号の印刷及び委託費等	協会誌4月号及び委託費等の未払	5,330,748
未払費用	調査報告書の印刷	調査報告書の印刷費	700,000
前受会費	2024年度分会費	2024年度分前納会費分	3,037,600
預り金	職員等の給与控除の社会保険料、源泉所得税、住民税及び報酬料金の源泉所得税	社会保険事務所、税務署、市町村へ納付する職員等の預かり金	1,027,562
賞与引当金	2024年6月期賞与要支給見込額	職員等に対する賞与支払いのための引当金	1,202,700
未払消費税等	2023年度未払消費税等	2023年度消費税の未払分	866,300
未払法人税等	2023年度未払法人税等	2023年度法人税等の未払分(均等割)	70,000
流動負債合計			12,234,910
<b>固定負債</b>			
退職給付引当金	職員等2名に対する退職給付引当金	職員等に対する退職金支払いの為	6,362,500
創立記念引当金	創立記念式典の為の準備金	創立記念式典の為の準備金の引当金	9,000,000
資産除去債務準備金	事業所の原状回復に必要となる債務	事業所の原状回復に必要とされる金額	22,000,000
災害対策準備金	大災害時における会員救済の為の準備金	大災害時における会員救済の為の準備金	10,000,000
固定負債合計			47,362,500
負 債 合 計			59,597,410
正味財産合計			143,824,211
負債及び正味財産の合計			203,421,621

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産(貯蔵品)の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 …… 定率法によっている。

ソフトウェア …… 定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 …… 翌期支払の職員等の賞与見込額のうち当事業年度に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金 …… 当事業年度末における退職給付債務に基づき、相当する金額を計上している。

創立記念事業引当金 …… 第70回創立記念式典に見込まれる費用のうち、等事業年度に引当てる金額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引で、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち負債に対応する額	うち正味財産からの充当額
特定資産			
創立記念引当預金(普通預金)	9,000,000	0	9,000,000
退職給付引当預金(普通預金)	6,362,500	0	6,362,500
資産除去債務準備預金(普通・定期預金)	22,000,000	0	22,000,000
災害対策準備預金(普通預金)	10,000,000	0	10,000,000
合 計	47,362,500	0	47,362,500

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 保証債務

該当なし

7. 重要な後発事象

該当なし

## 附属明細書

### 1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記3、「特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。」に記載しているため省略します。

### 2. 引当金の明細

単位:円

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	1,622,000	1,732,700	2,152,000	1,202,700
退職給付引当金	6,825,500	3,235,200	3,698,200	6,362,500

# 監 查 報 告 書

# 監査報告書

一般社団法人日本鉄道運転協会  
会長 白川 保友 殿

2024年5月13日  
一般社団法人日本鉄道運転協会

監事 竹谷 英樹 印

監事 中道 哲朗 印

監事 青山 裕一 印

私たちは、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

## 1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などを必要と思われる監査手続を用いて、書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席して理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

## 2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び附属明細書は、会計帳簿記載の金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実と認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正な行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上